

<目次>

はじめに	1
目次	2
0. 事業概要	
0.1 背景	3
0.2 事業の目的	3
0.3 平成 22 年度事業の主要結果	5
0.4 “ハイブリット技術”による水食対策技術の普及に関する外部依存性低下の仮説	6
0.5 平成 23 年度事業の目的	7
0.6 平成 23 年度の事業概要	7
1. 普及の対象となる地域の住民や社会に関する調査	
1.0 対象地域の変更先の選定理由	11
1.1 基礎的情報	12
1.2 社会的背景	14
1.3 土地利用や砂漠化対処等に関する農民の認識	17
1.4 事業前のハイブリット技術に関連する技術の普及状況の調査	18
2. ハイブリット技術の導入	
2.1 試行場所の選定	21
2.2 ディゲットの設置	24
2.3 肥料（コンポスト）の作成	25
2.4 ザイの作成及びアンドロポゴンの移植	25
3. 在来技術・資源を組み合わせた砂漠化対処技術による土壌流出防止及び生計向上効果の分析	
3.1 土壌流出防止効果	27
3.2 土壌水分向上効果	32
3.3 アンドロポゴンの生長促進効果	44
3.4 生計向上効果	48
4. 普及に関する調査結果	
4.1 普及活動の実施	52
4.2 ハイブリット技術への認識に関する調査結果	56
4.3 技術の普及経路に関する調査結果	58
5. 在来技術・資源を活用した普及手法の評価	
5.1 背景情報等の整理（対象地域のアンドロポゴンへの認識等）	76
5.2 普及した技術の広がり（2011 年 12 月時点）	81
5.3 ハイブリット技術による水食対策の普及の可能性の検討	84
5.4 当事業の普及手法（ワークショップ）による普及の特徴と効果	87
参考資料	91
参考文献	97